

農業生物資源ジーンバンク事業 40 周年記念シンポジウム

遺伝資源の徹底的な活用に向けて

開催日時

2024 年 10 月 31 日（木）

シンポジウム 13:00～15:25

ジーンバンク見学 15:30～17:15 （希望者のみ、45 名限定）

開催場所

シンポジウム：文部科学省研究交流センター内 国際会議場（茨城県つくば市）[\(地図\)](#)

およびオンライン

ジーンバンク見学：農研機構 遺伝資源研究センター（茨城県つくば市）

（バスで送迎します。）

開催趣旨

急激に変化する農業情勢において、AI や ICT を活用したスマート農業、気候変動への対応、環境との調和が求められています。40 年目を迎えた農業生物資源ジーンバンク事業を最大限に活用し、このような喫緊の課題に対応するため、どのような遺伝資源が必要か、またその遺伝資源にどのようなゲノム配列や形質の情報を付加することが望ましいか、さらに、遺伝資源を利用して得られた研究成果や新品種をどのように社会実装するか、この機会に様々な立場の皆様とともに考えるため、本シンポジウムを開催します。

プログラム

司会：河本夏雄（農研機構 遺伝資源研究センター 副センター長）

12:00 開場

13:00～13:10 主催者挨拶 中川路哲男（農研機構 理事）

13:10～13:25 「最近の農林水産政策の動向について」

羽子田知子（農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課 課長）

13:25～13:55 基調講演「これからのジーンバンク事業と遺伝資源研究に期待する」

長峰司（科学技術振興機構 SATREPS 研究主幹）

13:55～14:00 休憩

14:00～15:20 パネルディスカッション

「ジーンバンク事業の現状」杉浦誠（農研機構遺伝資源研究センター センター長）

座長：杉浦誠

パネリスト：長峰司

原田守（株式会社萩原農場）
東條元昭（大阪公立大学大学院 農学研究科）
田村泰盛（農研機構 生物機能利用研究部門）
鐘ヶ江弘美（農研機構 農業情報研究センター）

15:20～15:25 閉会挨拶 杉浦誠

（以降は見学を申し込まれた方のみ）

15:30 見学バス出発

16:00～16:45 ジーンバンク見学

17:15 見学バス帰着：つくばエクスプレス つくば駅

参加申し込み

参加を希望される方は、下記の参加申し込み窓口より、登録をお願いします（参加費は無料です）。

URL: https://www.gene.affrc.go.jp/event-ws_20241031.php

申込締め切り：2024年10月25日（金）17時

定員（会場150名、オンライン500名、ジーンバンク見学45名）に達し次第、受付を終了させていただきます。事務局からの返信をもって受付完了となります。届かない場合は、以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

農研機構 遺伝資源研究センター 40周年シンポジウム事務局

E-mail: GB40sympo@naro.affrc.go.jp 電話: 029-838-7436